

科目名 (Eng)		国際経営論 (International Management)							
担当教員									
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション 情報学科	5	後期	必修	2	30	専門	A	○
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-2)，(B-4)，(C-1)， 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2)，3) JABEE基準1(1)との対応：(d)-(1)，(d)-(4)，(h)								
授業の概要と方針		国際経営の観点から企業のイノベーションについて学習する。							
到達目標		①国際経営の観点からイノベーションについて理解する。 ②国際経営における企業のイノベーションの事例を理解する。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
後期	16	導入・多国籍企業とイノベーション(1) 多国籍企業とイノベーション(1)	イノベーション経営						
	17	多国籍企業とイノベーション(1)	イノベーション経営				前回授業の復習		
	18	多国籍企業とイノベーション(2)	イノベーションの歴史				前回授業の復習		
	19		イノベーションの歴史				前回授業の復習		
	20	多国籍企業経営と イノベーション(3)	イノベーションのパターン				前回授業の復習		
	21		イノベーションのパターン				前回授業の復習		
	22	多国籍企業経営と イノベーション(4)	イノベーションと企業の発展・衰退				前回授業の復習		
	23		イノベーションと企業の発展・衰退				前回授業の復習		
	24	多国籍企業経営と イノベーション(5)	イノベーションと企業戦略				前回授業の復習		
	25		イノベーションと企業戦略				前回授業の復習		
	26	多国籍企業経営と イノベーション(6)	製品開発のマネジメント				前回授業の復習		
	27		製品開発のマネジメント				前回授業の復習		
	28	多国籍企業経営と イノベーション(7)	イノベーションと企業間システム				前回授業の復習		
	29		イノベーションと企業間システム				前回授業の復習		
	30	多国籍企業経営とイノベーション(8) まとめ	創造的技術者の論理				前回授業の復習		
試験について		50分の後期期末試験を実施する。							
評価方法		定期試験70%、課題等30%で総合的に評価する。							
教科書		配布資料							
参考書		必要に応じて指示する。							
関連科目		経営学、経営戦略論、組織論							
履修上の注意		レポート課題の提出を求める。また、授業内で課題を課すこともある。 自学自習の確認方法：授業の予習あるいは復習等の課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。							